

(上田保健所管内に所在する)
高等学校の長 様

上田保健福祉事務所長
(上田保健所長)

新型コロナウイルス感染症の感染防止のための取組について (依頼)

日頃新型コロナウイルス感染症の感染防止のための取組につきまして、特段の御配意をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の“いわゆる”「第三波」におきましては、当所管内においてもかなりの感染者の発生があり、未だ発生が続いております。

感染者の年齢層は、様々な年代に及んでおり、高校生にも多数の発生がありました。

それらに関し当所で行った感染拡大防止等のための積極的疫学調査、感染状況の調査等の中で、「高校生活等の中で生じるリスク、感染事例」が確認できました。

つきましては取り急ぎ情報提供させていただきますので、貴校の学生に対し、家族を含め大切な人の命を守り、感染リスクを減らすため、下記事項を参考に「感染防止のための行動」を再度呼びかけていただきますようお願い申し上げます。

記

1 リスク・感染事例と防止策について

(1) 昼食時のリスク

昼食の弁当を、気の合う仲間で席を囲み、向かい合って、集まって食べている事例が散見されました。

食事の際は、マスク等の感染防止策が取りにくく、距離も近いことから、リスクが高まります。さらに会話も弾み、「懇親会」や「大人数の飲食」にも準ずる状態となることもあり、一層リスクが高まります。

【どうすれば？ (感染防止策など)】

- ・ 食事中は黙って食べる (“楽しい会話” は食事後マスクをして)
- ・ クラスの移動はせず、距離は離し、向かい合いには座らない
- ・ 食べている間や、近くに座るときは換気をする

(2) 友人が集まったの勉強会や交遊

友人宅に集まったの勉強会や会話、街での交遊、カラオケ等の事例が散見されました。

学校に居た時とは「居場所が切り替わり」、気の緩みや、マスクなしでの会話、距離が近くなる、時間が長くなる、声が大きくなる、さらに「狭い空間」の場合もあり、感染リスクが高まります。

【どうすれば？（感染防止策など）】

居場所が替わっても、手洗いや、基本的な感染防止策（マスクの着用、人と人との距離の確保、3密を避ける、大声を出さない）を常に忘れずに。

(3) 同居家族に高齢者や病気のある人がおられる

同居家族に高齢者や病気のある人がおられ、学生と仲も良く、食事や会話など密な関係がある事例が散見されました。

高齢者や病気のある人は、病気が重くなる傾向があります。大切な祖父、祖母のため、感染させないよう特に気をつけてください。

【どうすれば？（感染防止策など）】

- ・帰宅時の手洗い、手指消毒、ドア等皆が触る場所の定期的な消毒
- ・家の中でも基本的な感染防止策を続ける
- ・軽微であっても、咳、発熱等の風邪症状がある時は、接触を避ける
- ・症状が治まってからも、1週間程度は接触を避ける
- ・お互いの部屋から、SNSや携帯での会話などの工夫も

2 資料について

『感染リスクが高まる「5つの場面」』など、国、県の資料を添付しますので、周知等の参考にしてください。

なお当所のホームページにも新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する資料の掲載、リンク等を貼ってありますので、ご覧ください。

検索／上田保健福祉事務所

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/index.html>

<添付資料> [『感染リスクが高まる5つの場面』](#)
[「今皆さんに考えてほしいこと」](#)
[信州版「新たな日常のすゝめ」\(冬 ver.\)](#)

3 留意事項

上記に掲げた「リスク」、「対策」等は、現時点の調査結果及び厚生労働省の資料等に基づき記載しています。今後の疾病に関する調査や、研究が進む中で、変更されることもありますので申し添えます。

長野県上田保健福祉事務所(保健所)
副所長 三井一孝 健康づくり支援課長 松本清美
電話 0268-25-7147(直通)
FAX 0268-23-1973
E-mail uedaho-somu@pref.nagano.lg.jp